

第88期 第2四半期 株主報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで



西部電機株式会社

証券コード 6144



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社グループの第88期第2四半期連結累計期間
(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の決算が
終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

2020年12月

取締役社長

宮地敬四郎

Keishiro Miyaji

中期経営計画「チャレンジ240」

Q 当第2四半期の決算ポイントについて教えてください。

A コロナ禍の混乱の中、前年同期比増の受注を確保しました。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響がある中、経済活動は一部で徐々に再開の動きが見られるものの、先行き不透明感は続いております。

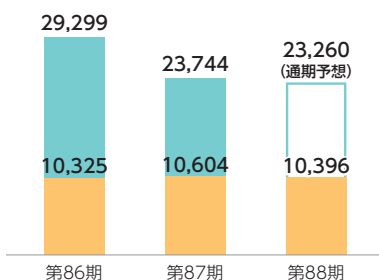
このような情勢の中で、当社グループは、今年度は中期経営計画「チャレンジ240」の最終年度として、どのような環境下にあります。でも、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は、主に搬送機械事業と産業機械事業が増加して114億6千9百万円(前年同期比2.0%増)となりました。売上高は、精密機械事業は増加

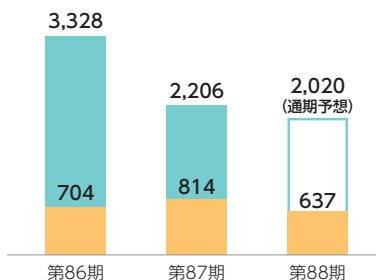
業績ハイライト・Financial Highlights

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円・%)

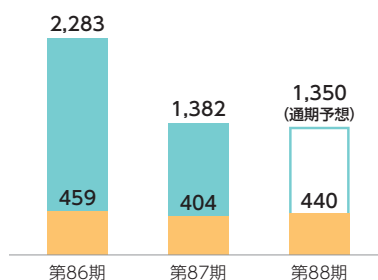
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



の最終年度。全社一丸となって目標達成を目指します。

したものの、主に搬送機械事業が減少して103億9千6百万円（前年同期比2.0%減）となりました。また、損益においては、コストダウンと経費節減に当社グループ一丸になって注力しましたが、経常利益は6億3千7百万円（前年同期比21.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期計上した投資有価証券評価損がなかったことなどから4億4千万円（前年同期比8.8%増）となりました。

Q 通期に向けてはいかがでしょうか？

A チャレンジ240の計画達成へ向け執念をもって取り組んでまいります。

市場環境は米中問題や新型コロナウイルスの蔓延によって先行き不透明な状況ではありますが、輸出環境、メンテナンス事業、ゲート市場等を中心に復調の兆しも見えております。当事業年度は中期経営計画「チャレンジ240」の最終年度であ

り、計画達成へ向け執念をもって取り組んでまいります。

なお、通期の連結業績見通しとしては、売上高232億6千万円、経常利益20億2千万円、親会社株主に帰属する当期純利益13億5千万円を計画しております。

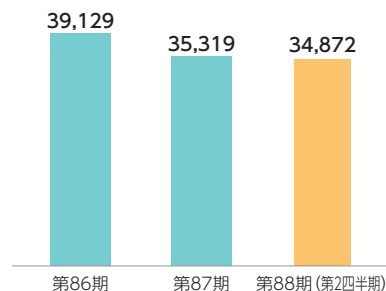
Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 当第2四半期末の配当金は、1株当たり14円とさせていただきます。

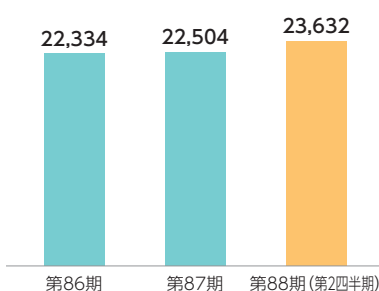
当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。当第2四半期末の配当金につきましては、1株当たり14円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

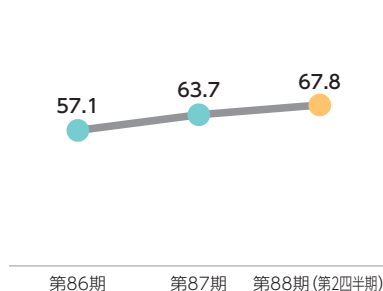
総資産



純資産

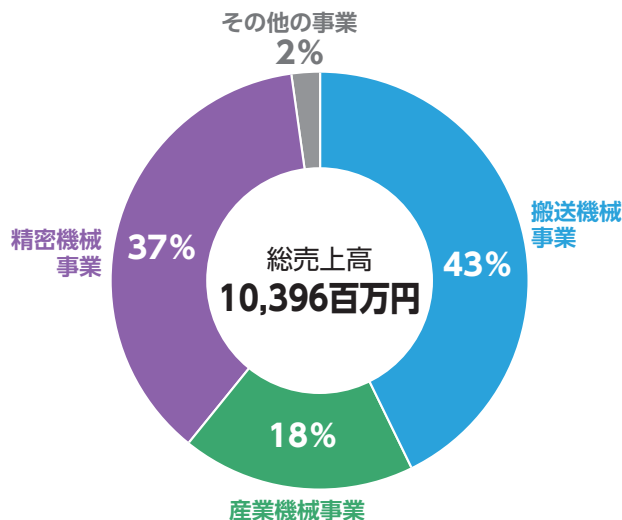


自己資本比率

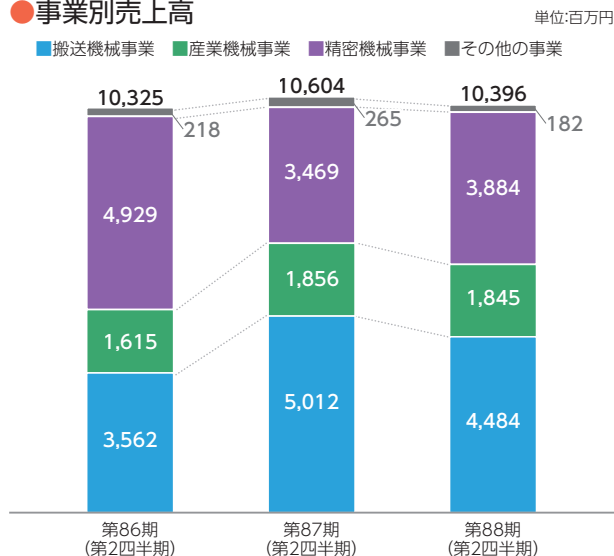


主要な事業別営業の概況 ・ *Operating Overview*

●事業別売上高構成比



●事業別売上高



搬送機械事業

売上高 **4,484百万円** (前年同期比10.5%減)

搬送機械事業では、既存顧客からのリピート受注、自動倉庫や生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。その結果、受注高は大口物件が減少したものの自動化物流センターの成約などがあり47億1千1百万円(前年同期比5.8%増)、売上高は大口物件が減少したことなどから44億8千4百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

主要商品

- 立体自動倉庫 ■ FAシステム ■ ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム ■ ロボティクス・マテハン

FAシステム (DIOシステム)



ケース自動ピッキングシステム (高速フェースカー)



ロボティクス・マテハン (ワインピッカーC)



TOPICS

コンビニエンスストア向け飲料仕分けセンタより「カートケースローダー」受注

当社が納入した過去のコンビニエンスストア仕分けセンタでは、店舗単位に自動仕分けを行い搬送されてきた段ボールケースを、人力で6輪カートに積付けていました。この積付け作業が重労働であり、作業者の確保が課題となっていました。当社の「カートケースローダー」が自動化を実現し、この課題を解決しました。

現在、物流業界ではロボット活用による省人化・自動化が積極的に行われています。そのような中、当社の「カートケースローダー」は、6輪カートへの安定した段ボールケース積付けを行うことができ、省人化に大きく貢献できる装置となっています。また、多関節ロボットで構成した場合と比較し、スペース50%減、コスト60%減を実現することができました。特筆すべきは、高価な画像処理を使用せず、センサー技術で代用することによる大幅なコストダウンと、高能力ながら安定した積付け動作ができる点です。今回、コンビニエンスストア向け飲料仕分けセンタで4機をご採用いただきましたので、これに続き「ロボティクス・マテハン」を事業の柱に育てるべく邁進いたします。

カートケースローダー

産業機械事業

売上高 **1,845**百万円 (前年同期比0.6%減)

産業機械事業では、民間需要の掘り起こしやゲート分野のほか、上下水道向け、サービス・メンテナンスが順調に推移し、受注高は30億5千1百万円(前年同期比2.8%増)、売上高は18億4千5百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

主要商品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置

バルブアクチュエータ・プラント



ゲート駆動装置(大型60t)



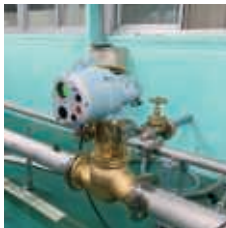
TOPICS

防衛省殿向け次世代多目的護衛艦(FFM型:8隻)Semflexシリーズ搭載

2016年春より産業機械事業部の新市場開拓として、「防衛省イージス護衛艦向けバルブアクチュエータ」の開発を手掛けてまいりました。既存機LTMD・LTRMにイージス護衛艦用の改良を加え、防衛省認定規格「NDS」に合格。世界最新鋭のイージス護衛艦(まや・はぐろ)2隻に搭載され就役しました。これに続き、海上自衛隊の人手不足を補うため、新たに開発された次世代多目的護衛艦(FFM型:2020年~2024年=計8隻建造)にSemflexシリーズが搭載されることが決まり、当該機の出荷が始まりました。省人化対応要求によりAI機能を持たせたSemflexシリーズが新たな形の国防任務を担います。



護衛艦:FFM型船体(イメージ)



精密機械事業

売上高 **3,884**百万円 (前年同期比11.9%増)

精密機械事業では、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、国内設備投資が低調ではあるものの、主に放電加工機の中国向けの輸出は早期に回復し、受注高は35億4千万円(前年同期比0.3%減)、売上高は38億8千4百万円(前年同期比11.9%増)となりました。

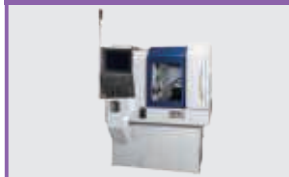
主要商品

- 超精密・高精度ワイヤ放電加工機
- 高精度小形NC旋盤
- 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様)
- 正面旋盤

超精密ワイヤ放電加工機(MEX15)



高精度自由形状内面研削盤(SFG-35P/HP/UP)



TOPICS

高精度大型ワイヤ放電加工機 SuperMM80Bの開発

精密プレス金型のプレート加工分野では、生産コスト低減の観点より、主流であった分割型から一体型へシフトしています。また、多数個取り等の理由からプレートが大型化しており、より高精度な大型ワイヤ放電加工機が求められていました。

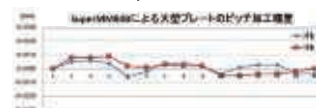
精密機械事業部では、シフトする市場ニーズに応えるため今回新たに「SuperMM80B」を開発しました。この製品は当社最大である800mmx600mmのストロークを有し、大型プレート加工において±1μm以内のピッチ精度を実現しました。

また、機械組み立て精度を向上させる手段として、長年培ってきた伝統技術「さざげ」を要所に施しています。この「さざげ」と最新のCNCによる補正機能が融合することで、より高いレベルでの精度向上と精度維持を実現することができました。

2020年11月より受注を開始し、2021年2月より出荷を開始する予定です。



SuperMM80B



連結財務諸表(要約) ・ Financial Statements

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

第2四半期連結貸借対照表

科 目	第87期 2020年3月31日	第88期第2四半期 2020年9月30日
資産の部		
流動資産	21,037	19,541
固定資産	14,282	15,331
有形固定資産	10,079	10,020
無形固定資産	32	35
投資その他の資産	4,170	5,274
資産合計	35,319	34,872
負債の部		
流動負債	9,236	7,559
固定負債	3,578	3,680
負債合計	12,815	11,239
純資産の部		
株主資本	17,882	18,061
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	12,612	12,817
自己株式	△4	△30
その他の包括利益累計額	4,621	5,570
純資産合計	22,504	23,632
負債純資産合計	35,319	34,872

第2四半期連結損益計算書

科 目	第87期第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	第88期第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
売上高	10,604	10,396
売上原価	7,816	7,787
売上総利益	2,787	2,609
販売費及び一般管理費	2,030	2,014
営業利益	756	594
営業外収益	64	61
営業外費用	5	18
経常利益	814	637
特別損失	128	3
税金等調整前四半期純利益	685	634
法人税、住民税及び事業税	125	59
法人税等調整額	156	134
四半期純利益	404	440
親会社株主に帰属する四半期純利益	404	440

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第87期第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	第88期第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,384	2,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△716	△328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△388	△272
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,489	1,956
現金及び現金同等物の期首残高	10,437	7,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,948	9,467

会社概要・Corporate Profile

2020年9月30日現在

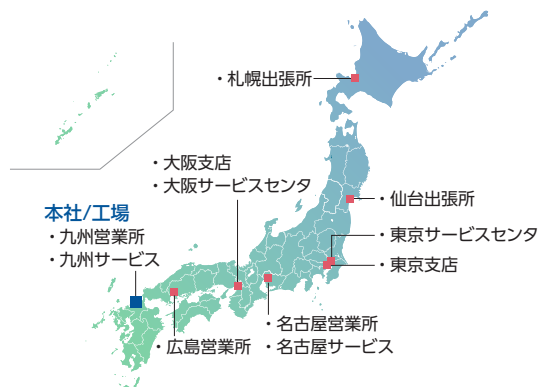
会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	1939年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	496名(連結550名)

役員

取締役社長(代表取締役)	宮地 敬四郎
常務取締役	税所 幸一
取締役	溝田 安彦
取締役	佐藤 徳生
取締役	後藤 俊哉
社外取締役	井上 信之
社外取締役	馬場 信哉
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	大塚 丈徳
社外監査役	岸川 浩幸

事業所



株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	2,612名

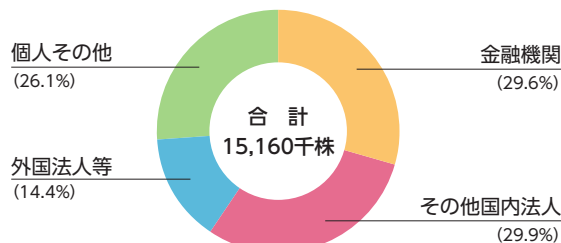
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,506	9.9
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,419	9.3
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
MSIP CLIENT SECURITIES	675	4.4
株式会社三菱UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	422	2.7

(注) 1. 持株比率は自己株式(10,300株)を控除して計算しております。

2. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から2020年10月16日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、2020年10月9日現在同社が3,608,000株(保有割合23.80%)を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<https://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合【特別口座の株主様】
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。 (ただし、支払明細発行については、右記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所、プラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いいたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	

株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の概要	(1) 対象となる株主様	3月末現在の株主名簿に記載された当社株式1単元(100株)以上保有の株主様。
	(2) 優待内容	保有株式数100株以上でクオカード1,000円分を進呈いたします。
	(3) 贈呈時期	定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定しております。



表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬深流の四季をモチーフに『自然随順』を表現しております。当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用し印刷しています。